

四方を制する円弧の守り

駿河 田中城

SURUGA TANAKA-JO

丸馬出と三日月堀——武田流築城術のセオリーともいえるこれらの縄張りを駆使し、駿河と遠江を結ぶ一大拠点として武田軍の西進を支えた田中城。同心円状に重ねた三つの曲輪と、平城でありながら難攻不落を誇った堅城の秘密を探る

すごいお城を5つ御紹介

湿地帯

◆田中城鳥瞰図(推定復元)

イラストは武田時代の田中城を南東方向から推定復元したもの。江戸期以前の田中城をうかがう資料としては、わずかに永享文庫所蔵の「駿河田中城御略之指図」が面影を残しているといわれており、イラスト化にあたって参考とした。①本曲輪、築城初期の面影を窺うと考えられる方形の縄張り。②二の曲輪、今川時代の拡張と思われる方形の堀を持つ曲輪。③三の曲輪、武田時代に拡張された曲輪。④三日月堀。⑤新堀口。⑥平島口。城の大手に相当。ここから延びる道は武田の勢力圏につながる。⑦藤枝口。⑧清水口。船手に相当。

『戦国の堅城』(学研)より

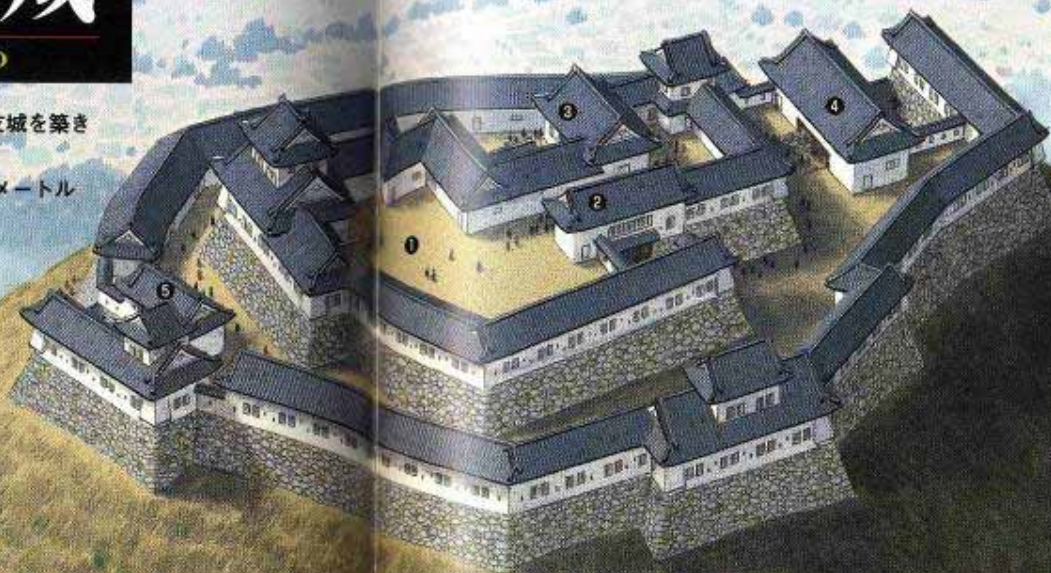
六 周 川

贅肉を削ぎ落とした戦国の「トーチカ」

筑前 鷹取城

CHIKUZEN TAKATORI-JO

関ヶ原戦後、筑前に入部した黒田氏は、領国の東辺に支城を築き
国境を固めた。その中で最も虚飾を排し
軍事に特化した城がこの鷹取城である。比高およそ600メートル
麓から隔絶した頂にそびえる城の構造を探る



◆ 鷹取城鳥瞰図(推定復元)

イラストは東の福智山方面から見た鷹取城。近世の城でありながら、比高約600メートルというきわめて異例な高さを持つ。上下2段の曲輪に分かれ、全周を石垣と多層櫓で囲まれており、実際にこの城を力攻めて落とすのは不可能であろう。手前の密に見える森は中世の畛状整備の跡だが、近世に再築された鷹取城では、これを城の防衛施設として用いていない。①主郭 ②東口城門 ③西口城門 ④永壽寺口城門 ⑤南口城門

『戦国の堅城』(学研)より

二層二階の大櫓を利用した立体防御

近江 鎌刃城

OHMI KAMAHARA-JO

城郭ファンの方に名前を知られた、浅井氏の境目の城「鎌刃城」
1998年から始まった発掘調査で、鎌刃城は驚くべき姿を現した
石垣と城の端部に建てられた天守のような大櫓
その防御思想は織豊城郭に類似する
土の城の時代に突如として現れた先進的城郭

『戦国の堅城』(学研)より

◆ 鎌刃城鳥瞰図(推定復元)

イラストは、戦国正面と想定された北西方面から鎌刃城を描いている。イラストにあるように、城の主要部は石垣で囲まれている。(1)大櫓切(2)北大櫓、地下1階、地上2階(3)土砂の崩落を防ぐための石垣(4)堀門(5)常時使用される出入り口(6)主郭南側の南大櫓(7)貯水槽(8)水樋、水の手から水を引く(9)水の手。現在も石垣が残る(10)築城土壌群

太平洋

城ヶ島

商港地区

軍港地区

“後北条の海”を支える江戸湾口の要衝

相模 三崎城

SAGAMI MISAKI-JO

関東内陸部への侵攻には、江戸湾の制海権の確保が必要であった。陸の覇者後北条氏は、しかし、房総里見氏に苦戦を強いられる江戸湾を「我らの海」に、その悲願に添えるべく卓越した技術によって築かれた海賊城

『戦国の堅城』(学研)より

●三崎城鳥瞰図(推定復元)

イラストは、天正5年(1577)に北条氏親が大改修した三崎城を北方より描いたものである。城ヶ島が太平洋の風浪を直る入り江(現北条湾)の西に城は築かれ、港は軍港地区と商港地区に分れていたと思われる。①主郭 ②主郭御殿 ③大櫓 ④主郭より見下る奥出 ⑤外郭 ⑥町屋

◆ 滝山城鳥瞰図 (推定復元)

南方の上空から見た滝山城。北から東にかけて多摩川が流れ、滝山城はこの水源を控えるために築かれた。本丸北側の滝の集落には、村木などを造る人々が住んだと思われる。古戦場跡となっている本丸と中の丸をのぞき、城は全体になだらかな丘陵上に築かれている。①本丸②中の丸、滝の集落からの登城ルートが本丸との間の橋の下をくぐる。③二の丸。本丸、中の丸への入り口を固める。④熱帯地、眼下に位置する大手筋の土塁を火制し利便を図る。信濃屋敷とともに一つの戦線を形成。⑤大馬出。7千挺の。坂行に絶望。⑥三の丸。小室山麓。戦線の守りを固める。

二の丸に凝縮された集中防御の戦術思想

武蔵 滝山城

MUSASHI TAKIYAMA-JO

『戦国の堅城』(学研)より

多摩川南岸の丘陵上に築かれた滝山城

防御の中心となる二の丸の周囲に大規模な空堀を穿ち、虎口には樹形と馬出を組み合わせる厳重な構えであった北条流築城術を駆使した堅城、滝山城の守りを検証する

本日の課題

お城を建ててください！

注文主は・・・

北条さんです！



早雲

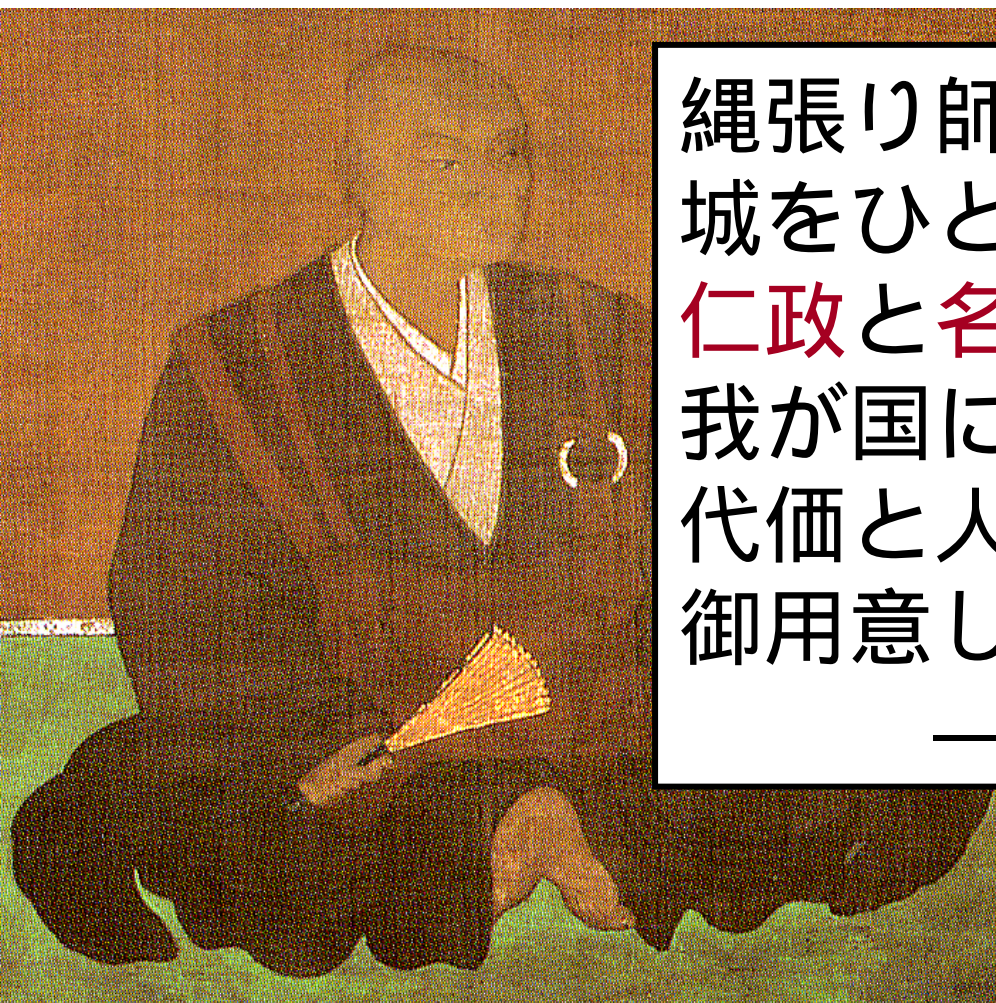
氏綱

氏康

氏政

氏直

注文主の**政治方針**をよく聞いて、なるべくそれが生かせるような城にしてください。



縄張り師殿。
城をひとつ建ててください。
仁政と**名裁き**を以て聞こえる
我が国にふさわしい城を。
代価と人手はふんだんに
御用意しましょうほどに。
——北条家当主

先週わかったこと

鶴岡造営プロジェクトの意図

伝統ある社の建て直しを
国を挙げての大事業としておこない
領民の熱狂を高め国をまとめてゆく



川中島と同じ

一工夫

資金も材木も上総・下総から

敵国への攻撃

この作戦は成功し、北条大帝国が繁栄する

しかし・・・

後世の伝説

氏綱、大檀那と

、神宮寺・若

宮・弁財天社

・廣明神・鐘楼・

総門・玉垣・

を初め、百八十

間の廊下まで

を鏤（ちりば）

め、花の垂

たるき）・・・奇

麗の粧なり

とも、民の煩（わ

ずらい）も

、国の費（つい

え）もな

ければ、氏綱の御威

光、日を

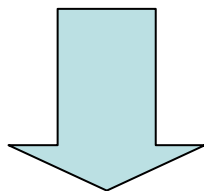
月に重なりけり。

もりあがれない・・・

判明！

川中島は特殊な合戦

戦場の外で、双方が熾烈なP R合戦を繰り広げた。



だから、

派手に宣伝したから、有名になり、伝説も生まれたんだ！



合戦と違って造営は
ドラマに乏しく伝説になりにくい

なぜ、こんなに無名なの？

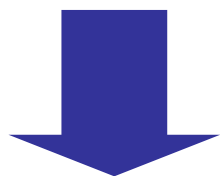
北条 5 代の名前 全部言えますか？

来年の大河ドラマは武田だってさ

またあ？

答え

北条氏は国をまとめてゆく核として、
合戦でなく**造営**を選んだ。



それは同時代には成功し、大帝国が繁栄したが、
後世の伝説には残りにくかった。

天文二

小田原

総・下

示が参

同四月

本日、

になつ

以下安

拒否し

先週は**日記**を使って
北条の政治について考察した・・・

十四

鶴岡

遣す

今日は**伝説**を使います。

別当を上

うにとの指

り小別当殿がお帰り

真里谷（まりやつ）

は、造営への助力を

な。

A 建国神話

さる老武士の語るところではの。

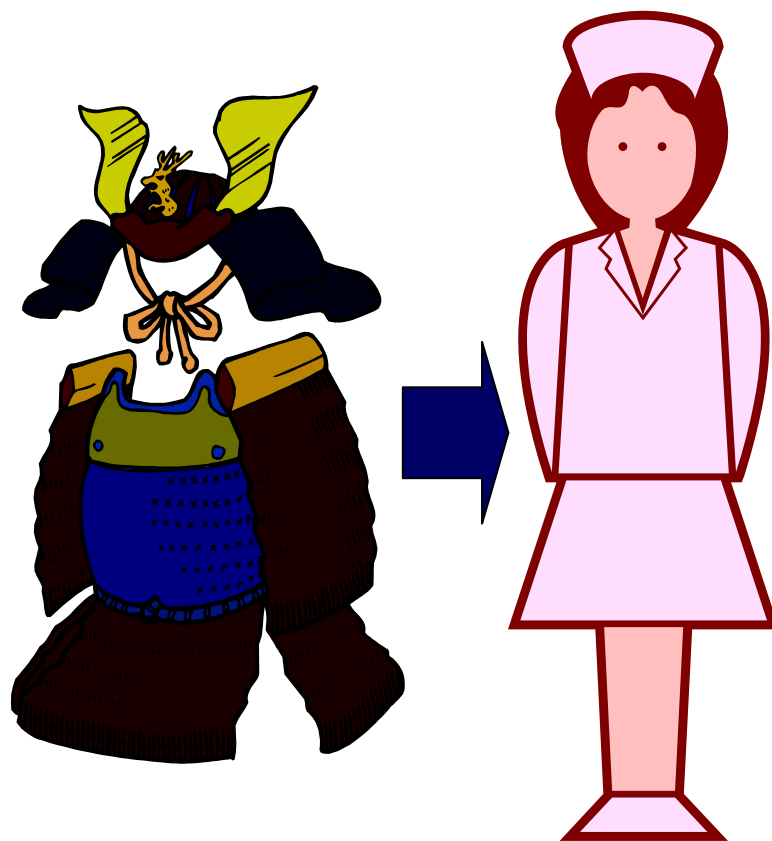
始祖早雲殿が伊豆を切り取りなさ
れた経緯はこうじゃ。早雲殿が五
百人の勇士を率いて、船にて颯爽
と伊豆の海岸に乗り付けたところ、
村人は海賊じゃと思うて皆逃げて
しもうた。悠々と上陸した五百人
の衆が村に入ると、そここから
呻き声が聞こえる。

これはいかにと苦屋（とまや）を
覗いてみると、どの家にも三人五
人と病人が臥しておる。聞けば、
疫病が流行つて死人が続出してお
るそうな。早雲殿は「不憫（ふび
ん）の次第。彼らを打ち捨てて先
へ行くわけには参らぬ。生くべき
者をば生かすのが仁政の道じゃ」
と、五百人に命じて、手厚く薬餌
をあてがつて看病させたところ、
日ならずして病人は一人残らず本
復した。

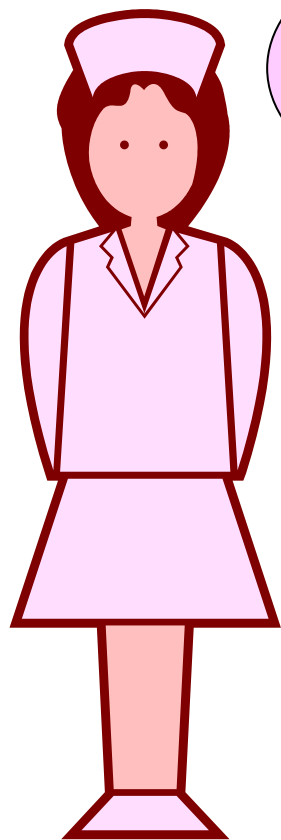
その知らせを受けて、逃げ散った村人たちも喜んで悉く帰ってきた。噂を聞いて近隣の侍や土豪も伺候してきた。こうして、早雲殿が七日間逗留している間に、三十里四方の村が皆味方に馳せ参じたとさ。

『北条五代記』卷七 伊勢新九郎伊豆 相模を治る事』

フシギというか ユーモラスというか・・・



勇者がナースになっちゃった！



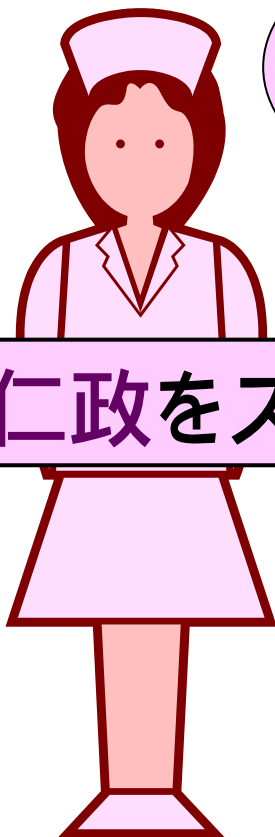
注目
ポイント！

北条早雲のセリフ

「不憫（ふびん）の次第。彼らを打ち捨てて先へ行くわけには参らぬ。生くべき者をば生かすのが仁政の道じゃ」

注目
ポイント！

仁政をスローガンに掲げる



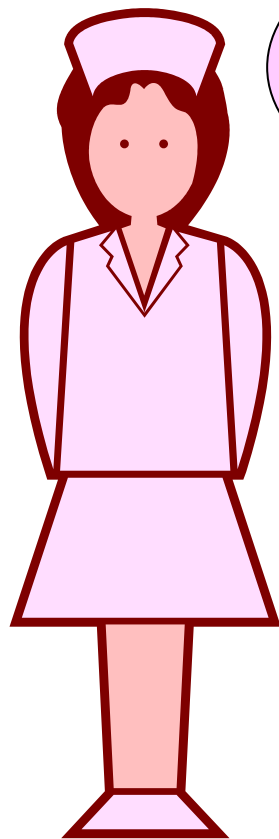
B 年貢免除

駿河にあつた時、百姓を哀れんで年貢を免除してやったので、感激した百姓が伊豆攻めの際に従軍してくれたとさ。

伊豆でも五つとる年貢を二つに軽減して、人気を博したぞ。

侍には、検地して多く収納したり、
夫錢・棟別（ぶぜに・むなべち）
の役を課したりして、百姓を苦し
めてはならぬと訓示したそうナ。

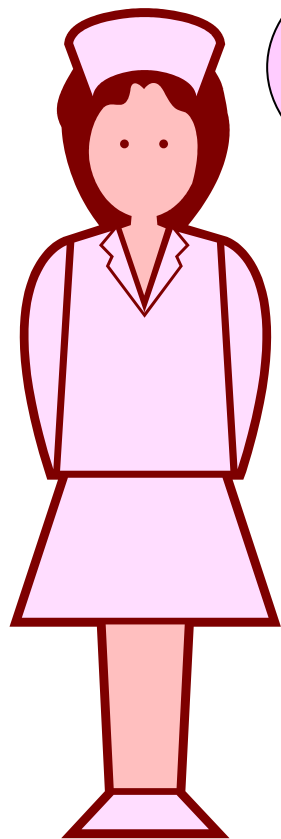
子孫たちも、早雲の志をしつかり
守つて、関八州を立派に治めた。
北条家は軍法が手ぬるいとの批判
があるが、とんでもないことだ。
刑政平らかにして百姓歸す、とい
う理想が実践されているのであつ
て、非道の年貢を恨んだ百姓ども
に背かれて滅びた武田ずれとは大
違いぞ。



注目
ポイント！

年貢が安いよ！
というアピールのほかに・・・

子孫たちも、早雲の志をしつかり守って、関八州を立派に治めた。北条家は軍法が手ぬるいとの批判があるが、とんでもないことだ。刑政平らかにして百姓歸す、という理想が実践されているのであって、非道の年貢を恨んだ百姓どもに背かれて滅びた武田ずれとは大違いぞ。



注目
ポイント！

年貢が安いよ！
というアピールのほかに…

武田とは違うぞ！ という自意識

C 武田非難

親を追い出し甥の氏真（今川）の
国を奪った悪逆無道の信玄めは、
百度戦って百度勝ったと威張って
おるが、戦わずして国を治めるの
がまことの名大将ぞ。 川中島で謙
信の太刀を団扇で受けとめただと。



まったく、甲州の奴等は虚言癖で
困る。首を一つ捕っただけで百
捕ったと言いおる始末じゃ。一度
背いた者でも先非を悔いて謝れば
赦してやるという、我が北条の度
量の寛さには、所詮、及ぶべくも
ないのう。



武田と上杉が、川中島を舞台に、
お互いを意識しつつ国を固めていったように

北条も隣国の武田の「武威」を意識しつつ
「仁政」をスローガンに国をまとめた

天文二

小田原

総・下

示が参

同四月

本日、

になつ

以下安

拒否し

先週は**日記**を使って
北条の政治について考察した・・・

十四

鶴岡

遣す

今日は**伝説**を使います。

別当を上

うにとの指

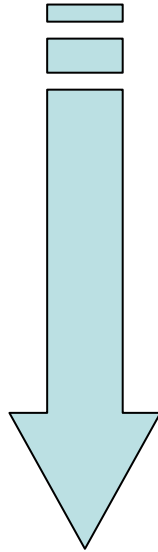
り小別当殿がお帰り

真里谷（まりやつ）

は、造営への助力を

な。

伝説からも
情報を汲み上げることができる



勇者がナースに
年貢安いよ
武田と違って寛大...

北条は**仁政**をスローガンに国をまとめた

とすると

先週の結論に追加することができる。

なぜ、こんなに**無名**なの？

北条氏は国をまとめてゆく核として、**合戦**でなく**造営**を選んだ。



+ **仁政**

それは同時代には成功し、大帝国が繁栄したが、後世の伝説には残りにくかった。

さらに伝説から汲み上げることができる北条政治の特徴・・・

D 氏康の裁定

里見と戦した折のこと、猛勇を振るって味方を薙ぎ倒していた一騎の武者を目がけて、まず中山左衛門尉が矢合戦を仕掛け、その間に伊達越前守が背後から接近して一筋の矢を命中させ、馬から落ちたところに片岡平次兵衛が躍りかかって首を捕るということがござった。三人とも私の手柄だと争って譲らぬ。

氏康公は、各々の証言に齟齬がな
いかどうかを、死体の傷跡や各人
の馬と鎧の色と突き合わせて厳密
に見定めたのち、こう判定をくだ
された。

「一番の手柄は伊達越前守、弓に
て馬上の敵を射落としたからじゃ。
二番は中山左衛門尉、猛敵と矢戦
を交わしたからじゃ。三番は片岡
平次兵衛、首を捕ったからじゃ」

おさまらないのは片岡平次兵衛。

「くーっ。首を捕った俺を一番で
はなく三番、しかも敵を射損じた
中山の下に置くとは、何たる恥
辱」

「そうよのう」諸人も首を傾げる。

氏康公は、「勲功とは、首を討つたかどうかではなく、戦への関わりかたの浅深軽重によつて定むるものぞ。中山が射損じたのは運がなかったただけで、剛敵と互角にわたり合つたとは、あつぱれ勇士の誉れと申すべきではないか」これで皆、納得したとさ。

理路整然と家臣たちを
説得しなければならない君主

E 氏政の裁定

佐竹との合戦の折、小栗権之助という侍が、一人の敵をある百姓と二人がかりで仕留める、ということがござった。首を携えて御前に伺候した二人を見て、人々は目引き袖引き、こう噂した。

「あれ見い、権之助めは名家の出
のくせに首を捕るのは今度が初め
てぞ。一緒に討つた首なんぞ百姓
に呉れてやればよいに、物欲しげ
に御前へ参るわ。情けなや。侍の
風上にも置けぬ。上様もさぞ御不
快じやろうて」

百姓が申し上げるには、「味方の
力にならんと竹鎧一挺引つ提げて
駆けつけましたところ、ちょうど
こちらの御武家様が敵と斬りかわ
しておられる真つ最中、どちらも
手負いにて勝負がつきませんでし
たので、わたくしが横から鎧を入
れて突き伏せましてございます」

氏政公はまず、「侍顔負けの働き
大儀であつた。以後、村の肝煎り
をつとめるがよいぞ」と百姓を勸
賞なされたあと、権之助に向い、

「強敵と雌雄を争つて手傷を負わ
せたところへ、百姓の助太刀、い
や助鎧を授かれたのは、神仏の冥
慮に叶うたゆえじゃ。決してそち
の武勇が至らなかつたからではな
いぞ。この首はこたびの戦で二番
目の功名と致そう。そちも胸を
張って歩くがよい」とねぎらわれ
た。よかつたのう、権之助。

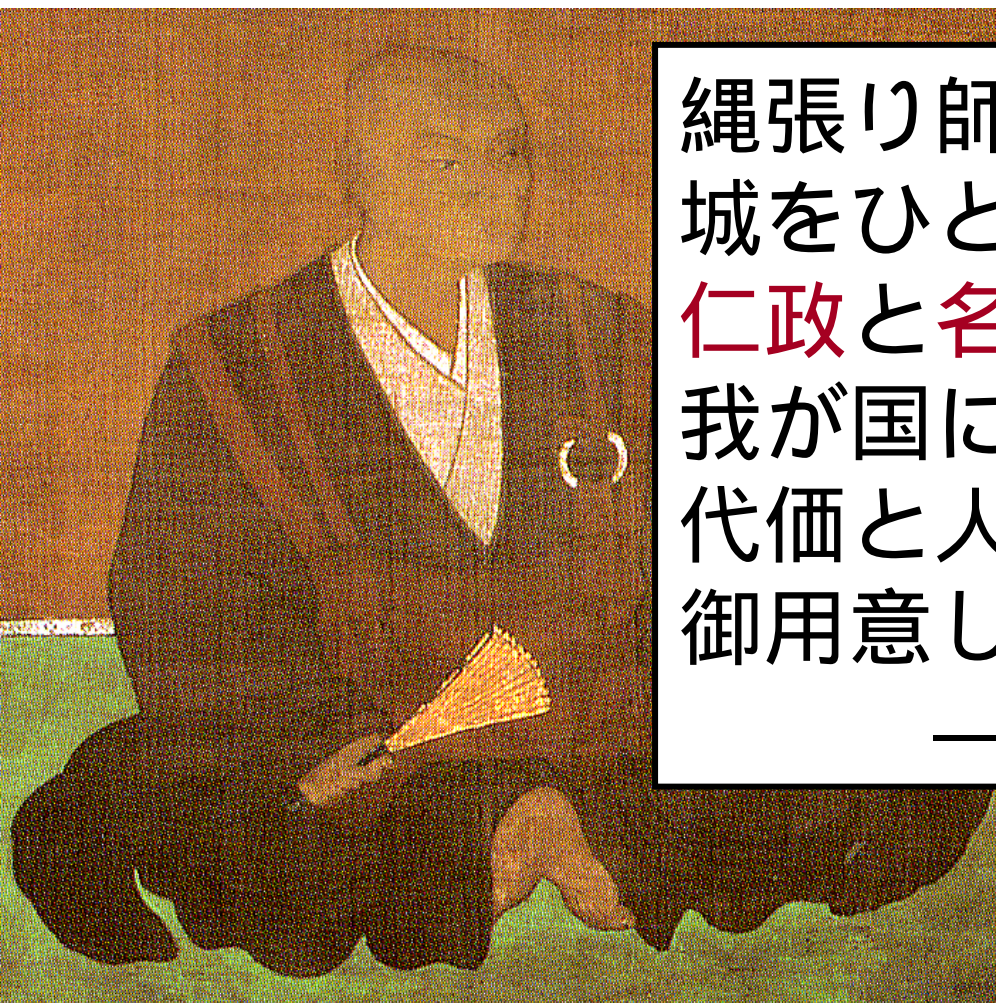
まとめ：北条氏の政治方針

仁政 + 名裁き

なるべく

これを生かした城づくりを！

注文主の**政治方針**をよく聞いて、なるべくそれが生かせるような城にしてください。



縄張り師殿。
城をひとつ建ててください。
仁政と**名裁き**を以て聞こえる
我が国にふさわしい城を。
代価と人手はふんだんに
御用意しましょうほどに。
——北条家当主

今週はお絵描きタイム

講義中に出された上記の課題に対し、
230人の東工大生が真剣に考えて提出したなかから、
個性ゆたかな14の作品を選んでお届けします。

「補足資料」をごらんください。